

KF シールテクト
YKB-W 工法
施工要領書

2022年12月

KF ケミカル株式会社

目 次

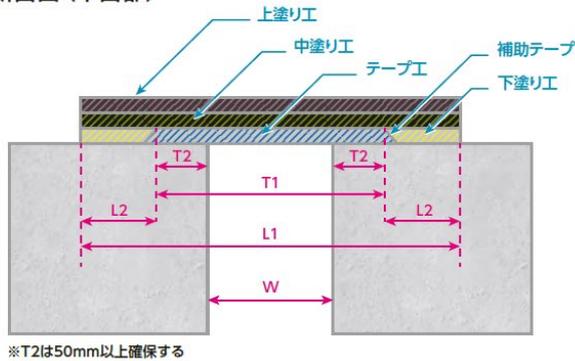
1	YKB-W 工法 仕様	1
2	YKB-W 工法 仕様断面図	1
3	施工フロー図	2
4	施工条件	2
5	要求下地	2
6	施工手順	
6-1	既存止水材撤去	3
6-2	下地ケレン	4
6-3	テープ工、補助テープ工	5
6-4	下塗り工	6
6-5	中塗り工	7
6-6	上塗り工	8

1 YKB-W 工法 仕様

工程	種別	使用材料	使用量/㎡
テープ工	片面ブチル付きゴムテープ	KF シールテクトテープ 200	遊間幅 遊間長
下塗り工	1 液湿気硬化型ウレタン樹脂 3 成分型水性エポキシ塗料	KF ウレタンプライマー50N KF シールテクトアンダーコート T	0.15kg 0.35 kg
中塗り工	2 液反応硬化型ポリウレタ樹脂	KF シールテクトミドルコート	1.5 kg
上塗り工	2 液反応硬化型高耐候ゴム塗料	KF シールテクト 33-3	0.5 kg

2 YKB-W 工法 仕様断面図

断面図 (平面部)

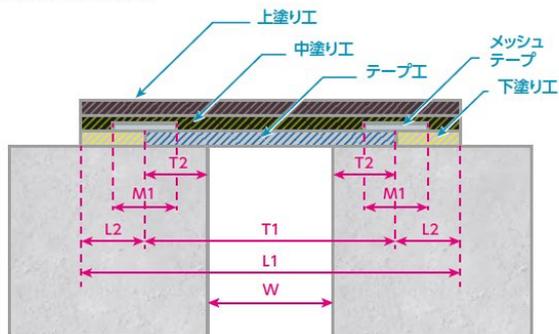


【標準規格値】※単位(mm)

W 遊間幅	T1 テープ幅	T2 テープしろ	L2 塗装しろ
0~10	50	25~20	50
0~100	200	100~50	100
101~200	300	100~50	100
201~300	400	100~50	100

W=150以上はKFシールテクトテープ200のたるみ防止のためPP板を使用する。
W=301以上はKFシールテクトテープ200を横貼りにして施工する。

断面図 (立面図)



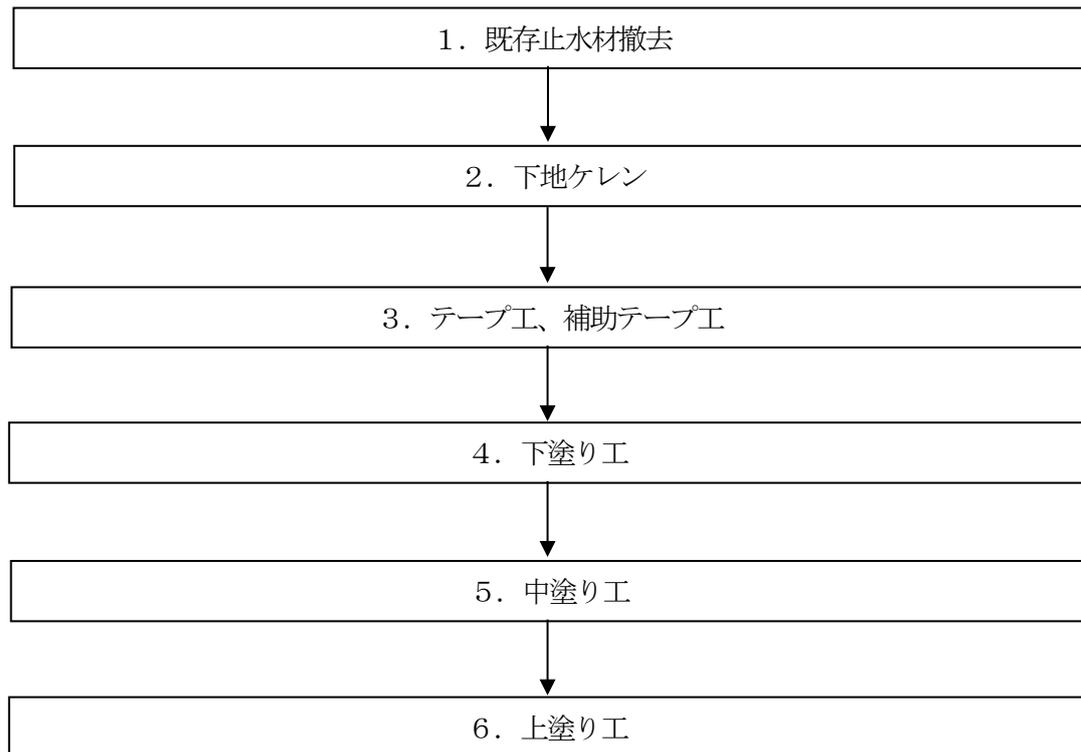
【標準規格値】※単位(mm)

W 遊間幅	T1 テープ幅	T2 テープしろ	L2 塗装しろ	L1 施工幅	M1 メッシュテープ幅
0~50	200	75以上	100	400	100
51~100	300	100以上	100	500	100
101~200	400	100以上	100	600	100
201~	400(横貼り)	100以上	100	600以上	100

※コンクリート目地やひび割れ部等に適用する場合は別途寸法を協議する。

仕様断面図と標準規格値

3 施工フロー図



4 施工条件

(1) 施工条件

以下の条件をすべて満たした状態で施工を行う。

- ・降雨、降雪、強風がないこと
- ・気温5℃以上、湿度85%以下であること
- ・施工面が十分乾燥し、結露・凍結がないこと
- ・施工面は十分に清掃され付着阻害要因となる異物等がないこと

5 要求下地

- (1) 施工面の補修歴を確認し、施工に支障のない下地表面であること。
- (2) 施工面は十分に乾燥していることを確認する。
- (3) 施工に支障のない程度に止水処理がされていること。

6-1 施工手順

作業名	既存止水材撤去	作業番号	1
-----	---------	------	---

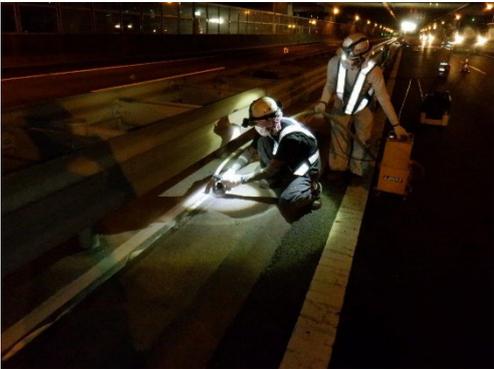
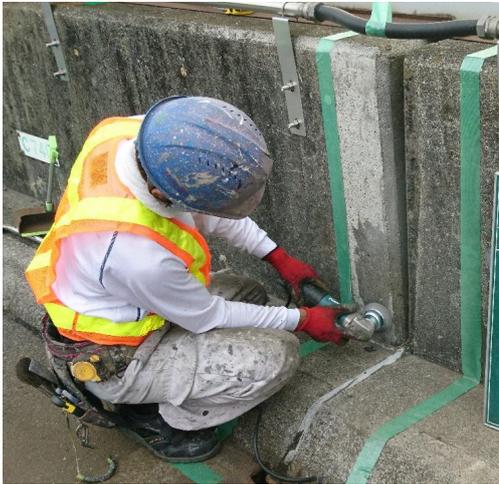
使用材料と使用量	なし	使用工具	①インパクト ②サンダー ③バール ④その他既存止水材に応じた工具
----------	----	------	--------------------------------------

作業内容	注意事項
<p>【既存止水材撤去】 施工範囲に設置されている既存の止水材を撤去する。 アンカーボルトで固定されている場合はアンカーピンをサンダーで撤去する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>既存止水材の例 (中央分離帯)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>撤去状況</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>既存止水材の例 (壁高欄)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>撤去状況</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <p>アンカーピン撤去状況</p> </div>	<p>事前に既存止水材の状況を確認し適切な撤去工具を準備しておく。</p> <p>アンカーピンを撤去する際は火花が飛び散るので柵などで囲う。</p>

6-2 施工手順

作業名	下地ケレン	作業番号	2
-----	-------	------	---

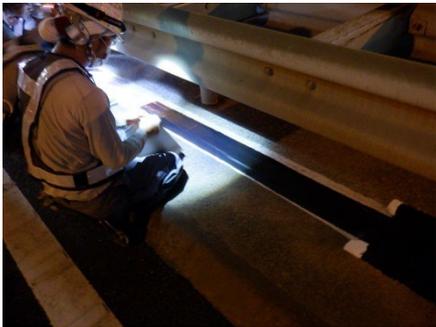
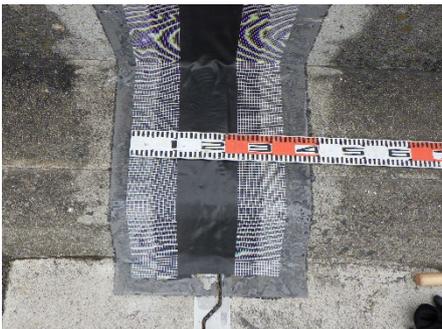
使用材料と使用量	なし	使用工具	①カップサンダー ②ワイヤーブラシ
----------	----	------	----------------------

作業内容	注意事項
<p>【下地ケレン】 塗料塗布範囲をカップサンダーやワイヤーブラシでケレンする。 ケレン範囲は塗装しろの範囲とし標準規格値参照。 施工形状によっては塗装しろの範囲を調整する。</p>  <p>ケレン状況（中央分離帯）</p>  <p>ケレン状況（壁高欄）</p>	<p>粉塵が飛散しないよう集塵機付きの工具が望ましい。</p> <p>ケレン時に、遊間から粉塵やゴミが落ちる可能性がある場合は、適宜バックアップ材等で落下防止対策をしてから行う。</p>

6-3 施工手順

作業名	テープ工、補助テープ工	作業番号	3
-----	-------------	------	---

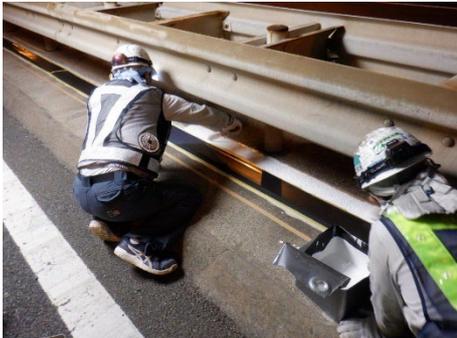
使用材料と使用量	KF シールテクトテープ200、補助テープ (使用量は遊間幅、遊間長による)	使用工具	①ハサミ
----------	---	------	------

作業内容	注意事項
<p>【テープ工】 目地、遊間部にKF シールテクトテープ200を貼り付ける。 たるみや気泡、石などが入らないように慎重に貼り付ける。 継ぎ目は50mmほどラップさせて貼り付ける。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>テープ工 (中央分離帯)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>テープ工 (壁高欄)</p> </div> </div> <p>【補助テープ工】 塗料塗膜厚を均一にするためKF シールテクトテープ200のエッジ部分に補助テープを貼り平滑にする。壁高欄部は中塗りのタレを考慮しメッシュテープとする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>補助テープ工 (中央分離帯)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>補助テープ工 (壁高欄)</p> </div> </div>	<p>ケレン時の粉塵が下地に付着しているとKF シールテクトテープ200の粘着性を阻害するので清掃してから行う。</p> <p>たるみや気泡、石などが入ってしまった場合はその部分を切り取り貼りなおす。</p> <p>補助テープは市販の養生用マスキングテープ等でよい。</p>

6-4 施工手順

作業名	下塗り工	作業番号	4
-----	------	------	---

使用材料と使用量	KF ウレタンプライマー50N (0.15 kg/m ²) KF シールテクトアンダーコート T (0.35 kg/m ²)	使用工具	①攪拌機 ②ローラー ③刷毛 ④ヘラ
----------	---	------	-----------------------

作業内容	注意事項																																
<p>【下塗り工】 KF シールテクトテープ 200 の両脇に KF ウレタンプライマー50N または下地の巣穴が多い場合には KF シールテクトアンダーコート T を塗布する。塗装し厚は標準規格値参照。</p> <p>KF ウレタンプライマー50N は 1 液タイプのためそのままローラーや刷毛で塗布する。 KF シールテクトアンダーコート T は 3 成分タイプのため、以下の手順で混合攪拌してローラーや刷毛、ヘラで塗布する。</p> <p>混合攪拌方法：①ポリペール缶に硬化剤を入れる。②次に粉体を入れ 1 分間ダマがなくなるまで攪拌する。③最後に主剤を入れ 1 分間攪拌する。</p> <p>《 可使時間及び塗装間隔について 》</p> <p>KF ウレタンプライマー50N</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目 \ 温度</th> <th>5~10℃</th> <th>10~20℃</th> <th>20~35℃</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可使時間</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>塗装間隔</td> <td>2 時間~7 日間</td> <td>1 時間~7 日間</td> <td>0.5 時間~7 日間</td> </tr> </tbody> </table> <p>KF シールテクトアンダーコート T</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目 \ 温度</th> <th>5~10℃</th> <th>10~20℃</th> <th>20~35℃</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可使時間</td> <td>8 時間</td> <td>4 時間</td> <td>2 時間</td> </tr> <tr> <td>塗装間隔</td> <td>1 時間~7 日間</td> <td>1 時間~7 日間</td> <td>0.5 時間~7 日間</td> </tr> </tbody> </table>	項目 \ 温度	5~10℃	10~20℃	20~35℃	可使時間	—	—	—	塗装間隔	2 時間~7 日間	1 時間~7 日間	0.5 時間~7 日間	項目 \ 温度	5~10℃	10~20℃	20~35℃	可使時間	8 時間	4 時間	2 時間	塗装間隔	1 時間~7 日間	1 時間~7 日間	0.5 時間~7 日間	<p>・荷姿： KF ウレタンプライマー50N 1 kg/1 ℓ角缶</p> <p>KF シールテクトアンダーコート T 9.4 kg/ポリペール缶 主剤 : 2 kg 硬化剤 : 2 kg 粉体 : 5.4 kg</p> <p>容器入隅部は混ざり難いので入念に攪拌する。</p> <p>可使時間が過ぎた材料の使用は厳禁。</p> <p>作業時の天候には十分気を付ける。</p> <p>KF ウレタンプライマー50N ウェット膜厚 (参考値)</p> <table border="1"> <tr> <td>塗布量 (kg/m²)</td> <td>0.15</td> </tr> <tr> <td>膜厚 (μm)</td> <td>60</td> </tr> </table> <p>下地の吸込み等で計測不可な場合有り</p> <p>KF シールテクトアンダーコート T ウェット膜厚 (参考値)</p> <table border="1"> <tr> <td>塗布量 (kg/m²)</td> <td>0.35</td> </tr> <tr> <td>膜厚 (μm)</td> <td>225</td> </tr> </table> <p>下地の吸込み等で計測不可な場合有り</p>	塗布量 (kg/m ²)	0.15	膜厚 (μm)	60	塗布量 (kg/m ²)	0.35	膜厚 (μm)	225
項目 \ 温度	5~10℃	10~20℃	20~35℃																														
可使時間	—	—	—																														
塗装間隔	2 時間~7 日間	1 時間~7 日間	0.5 時間~7 日間																														
項目 \ 温度	5~10℃	10~20℃	20~35℃																														
可使時間	8 時間	4 時間	2 時間																														
塗装間隔	1 時間~7 日間	1 時間~7 日間	0.5 時間~7 日間																														
塗布量 (kg/m ²)	0.15																																
膜厚 (μm)	60																																
塗布量 (kg/m ²)	0.35																																
膜厚 (μm)	225																																
 <p>下塗り工 (中央分離帯)</p>	 <p>下塗り工 (壁高欄)</p>																																

6-5 施工手順

作業名	中塗り工	作業番号	5
-----	------	------	---

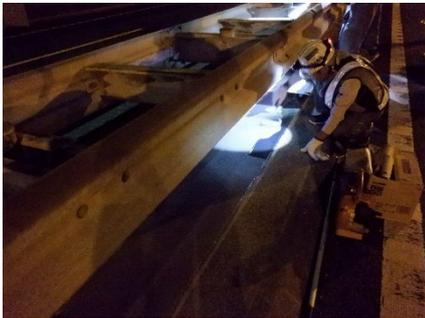
使用材料と使用量	KF シールテクトミドルコート (1.5kg/㎡)	使用工具	①攪拌機 ②ローラー ③刷毛 ④ヘラ
----------	---------------------------	------	-----------------------

作業内容	注意事項																
<p>【中塗り工】 下塗り工が指触乾燥していることを確認した後、中塗り工KF シールテクトミドルコートを塗布する。</p> <p>KF シールテクトミドルコートは2成分タイプのため、主剤と硬化剤を混合攪拌してローラーや刷毛、ヘラで塗布する。 (混合比=主剤：硬化剤=1：1)</p> <p>《可使時間及び塗装間隔について》 KF シールテクトミドルコート</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目 \ 温度</th> <th>5～10℃</th> <th>10～20℃</th> <th>20～35℃</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可使時間</td> <td>25分</td> <td>15分</td> <td>6分</td> </tr> <tr> <td>塗装間隔</td> <td>3時間～3日間</td> <td>1.5時間～3日間</td> <td>1時間～3日間</td> </tr> </tbody> </table>	項目 \ 温度	5～10℃	10～20℃	20～35℃	可使時間	25分	15分	6分	塗装間隔	3時間～3日間	1.5時間～3日間	1時間～3日間	<p>・荷姿： KF シールテクトミドルコート 主剤：3.2 kg/4L 角缶 硬化剤：3.2 kg/4L 角缶</p> <p>容器入隅部は混ぜり難いので入念に攪拌する。</p> <p>可使時間が過ぎた材料の使用は厳禁。</p> <p>可使時間が短いので混合量に注意する。</p> <p>作業時の天候には十分気を付ける。</p> <p>KF シールテクトミドルコート ウェット膜厚 (参考値)</p> <table border="1"> <tr> <td>塗布量 (kg/㎡)</td> <td>1.50</td> </tr> <tr> <td>膜厚 (μm)</td> <td>1450</td> </tr> </table>	塗布量 (kg/㎡)	1.50	膜厚 (μm)	1450
項目 \ 温度	5～10℃	10～20℃	20～35℃														
可使時間	25分	15分	6分														
塗装間隔	3時間～3日間	1.5時間～3日間	1時間～3日間														
塗布量 (kg/㎡)	1.50																
膜厚 (μm)	1450																
 <p>中塗り工 (中央分離帯)</p>	 <p>中塗り工 (壁高欄)</p>																

6-6 施工手順

作業名	上塗り工	作業番号	6
-----	------	------	---

使用材料と使用量	KF シールテクト 33-3 (0.5 kg/m ²)	使用工具	①攪拌機 ②ローラー ③刷毛 ④ヘラ
----------	---	------	-----------------------

作業内容	注意事項												
<p>【上塗り工】 中塗り工が指触乾燥していることを確認した後、上塗り工KF シールテクト 33-3 を塗布する。 中塗り工を完全に覆うよう塗布する。</p> <p>KF シールテクト 33-3 は2成分タイプのため、主剤と硬化剤を混合攪拌してローラーや刷毛、ヘラで塗布する。(混合比=主剤：硬化剤=13：2)</p> <p>《可使時間及び硬化時間について》 KF シールテクト 33-3</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目 \ 温度</th> <th>5～10℃</th> <th>10～20℃</th> <th>20～35℃</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可使時間</td> <td>3時間</td> <td>1時間</td> <td>30分</td> </tr> <tr> <td>硬化時間</td> <td>16時間</td> <td>8時間</td> <td>4時間</td> </tr> </tbody> </table>	項目 \ 温度	5～10℃	10～20℃	20～35℃	可使時間	3時間	1時間	30分	硬化時間	16時間	8時間	4時間	<p>・荷姿： KF シールテクト 33-3 主剤：6.5 kg/石油缶 硬化剤：1.0 kg/1L 角缶</p> <p>容器入隅部は混ざり難いので入念に攪拌する。</p> <p>可使時間が過ぎた材料の使用は厳禁。</p> <p>作業時の天候には十分気を付ける。</p>
項目 \ 温度	5～10℃	10～20℃	20～35℃										
可使時間	3時間	1時間	30分										
硬化時間	16時間	8時間	4時間										
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>上塗り工 (中央分離帯)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>上塗り工 (壁高欄)</p> </div> </div>	<p>KF シールテクト 33-3 ウェット膜厚 (参考値)</p> <table border="1"> <tr> <td>塗布量 (kg/m²)</td> <td>0.50</td> </tr> <tr> <td>膜厚 (μm)</td> <td>450</td> </tr> </table>	塗布量 (kg/m ²)	0.50	膜厚 (μm)	450								
塗布量 (kg/m ²)	0.50												
膜厚 (μm)	450												